

調査者	宇野 勲
情報ソースの刊行日	2020年5月4日
情報ソースの調査日	2020年5月8日
日本理学療法士学会 HPに公開された日	2020年5月13日
日本語タイトル	COVID-19 および既存の2型糖尿病患者における血糖コントロールとアウトカムに関連
情報ソース	Cell Metabolism
情報のカテゴリー	原著論文
発信地域	中国
DOI	10.1016/j.cmet.2020.04.021
URL	https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S1550413120302382?via%3Dihub#!
要約	<p>中国湖北省の COVID-19 患者 7337 人を対象とした多施設共同の後ろ向きコホート研究。糖尿病を合併している患者は 952 人だった。</p> <p>血糖値の変動が 3.9~10.0mmol/L 以内を安定群、その範囲外を不安定群に分類し、予後と比較。</p> <p>結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病患者は非糖尿病患者と比較して死亡率が高かった (7.8%対 2.7%)。 ・安定群は非安定群よりも死亡率 (HR=0.14)、ARDS (HR=0.47)、急性腎障害 (HR=0.12)、急性心障害 (HR=0.24) が有意に低かった。
最も注目するポイント 理学療法にどのように 役立つか?	<p>糖尿病は COVID-19 重症化のリスク因子であるため、改善が必要である。</p> <p>加えて、血糖コントロールを安定させることで、糖尿病患者の重症化を軽減できる可能性がある。</p> <p>外出自粛で運動不足や通院控えで血糖コントロールが不安定になっている人も少なくないと思われるので、理学療法士による糖尿病悪化の予防的な介入が有効な可能性がある。</p>